

みんなの願い

北総運賃値下げ

～ 合意がなければ「値下げゼロ」～

北総線の運賃値下げについては、10万人署名や陳情活動など、多くの皆さんの願いを国や県、鉄道事業者に呼びかけ、やっとの思いで5%弱の値下げ合意に至りました。しかし、その原資となる予算が白井市だけ市議会で削除され、このままでは鉄道運賃の値下げがなくなる可能性があります。さまざまな意見がありますが現在、この合意以外に値下げの道はありません。

今後の運賃

現行運賃

①高額な運賃
市からの助成なし

②通学定期助成

平成17年4月1日
～22年7月16日
通学定期 25%割引
(対象：高校生～22歳)
白井市・印西市(印旛村・
本埜村)で通学定期助成
【市の負担】

6,320万円/年

※市の負担は平成20年度実績。

通学定期助成制度が
ない運賃に戻ります

③合意内容

平成22年7月17日
～27年3月31日(5年間)
通学定期 25%値下げ
(対象：年齢制限なし)
普通運賃 5%弱値下げ
(10円～40円の割引)
通勤定期 1%強値下げ
【市の負担】

3,450万円/年

④合意どおりに進むと
合意に基づく利用促進協
議会を設置するなど、引
き続き検討、協議を行
います。

No

Yes

皆さんの 疑問 質問

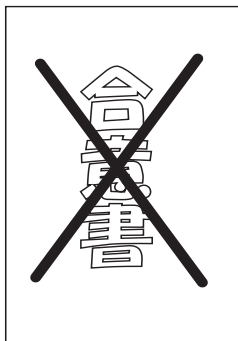
ここでは皆さんからいただいている主な疑問・質問について、お知らせします。

詳しい合意の内容などは、広報しろい5月1日号や市ホームページなどをご覧ください。

※今後も広報しろいやホームページで情報を提供していきます。

市がお金を出さないとどうなる？

～合意が白紙になり、値下げがなくなります～



今回の値下げ案は白井市を含む沿線6自治体や千葉県、鉄道事業者が合計6億円/年を出し合い実現するものです。市がお金を出さないと合意はなくなり、鉄道事業者はいずれ今の金額に戻す可能性があります。そうなった場合、普通運賃5%弱、通学定期25%の値下げもなくなります。

また、県、沿線自治体、鉄道事業者との信頼関係を損ない、今後の運賃値下げの取り組みが大変困難となります。

5%以上の値下げにならないの？

～希望は15%以上、
まずは5%～

15%以上の運賃値下げを期待し、今まで意見を提出してきました。県や鉄道事業者を巻き込み、やっとの思いで交渉のテーブルに着いた状況です。今まで1度も値下げをしたことのない北総線の運賃が5%弱でも値下げとなったことは前進で、今後さらに交渉をしていきたいと考えています。



さらなる値下げは

～県や沿線市と共同で～



今回の合意による値下げは第一歩です。合意の中で「利用促進協議会」の設置が決まっており、その中で利用者の利便性向上となる沿線全体での企画乗車券や活性化策などを議論していきます。

また、北総鉄道の債務圧縮や返済の軽減などに取り組み、さらなる値下げの努力をします。